

# のほろ

### 主な内容

- 住宅用地(若山町2丁目)63区画を分譲 登別市土地開発公社……………2 P
- 水道料金を改定 4月使用分から……………2 P
- 中小企業のみなさんへ 中小企業倒産防止共済制度・中小企業特別融資制度……………3 P
- (特集)国際障害者年 みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを……………4・5 P

●No. 318 ●昭和56年2月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部公聴広報課●印刷/中西印刷



## 粉雪に恵まれ、抜群のコンディション

### 国設カルルス温泉スキー場

## スキー教室も盛況

朝から、冬晴れの青空が広がった一月十一日、国設カルルス温泉スキー場には、冬休み期間中の日曜日とあって、家族連れや若者など千五百人ものスキーヤーがどっと押し寄せ、終日、黄色い歓声が雪山にこだましていました。

また、この日から始まった登別スキー連盟など主催のスキー教室には、初級・中級に六十人が参加。きこちない足取りで、ロッジ付近の緩斜面からスタートした講習も徐々に高い所へと巧みな指導で、初日ながら終了時には山腹から滑べれるほどの上達ぶり。同教室は、日曜・祝日を利用して三月一日まで開かれます。

国設カルルス温泉スキー場は、登別温泉から八時、バスで二十分、オロフレ岳、来馬岳などの美しい山々に囲まれた静寂なカルルス温泉にあって変化に富んだコースは初級者から上級者まで楽しむことができます。

今年、積雪も十分で最高のスキーコンディションとあって、登別や室蘭のスキーヤーをはじめ遠くから観光をかねて訪れるスキーヤーも増えています。

# 2 1981

# 住宅用地(若山町)63区画を分譲

分譲地案内図



予約申し込み 2月16日(月)～  
3月16日(月)

## 登別市土地開発公社

登別市土地開発公社では、宅地を解消するため、一般住宅地六十三区画を分譲します。

造成地は、若山町二丁目の市総合体育館から約五百坪鷺別寄りの敷地二万二千八百五十四平方メートルのうち道路、公園など公共施設を除いた一万五千八百四十六平方メートルが分譲されます。

近くには、道道上登別一室蘭線が走り、道南バス停留所があるほか、周辺には道立登別南高校、市総合体育館、市営プール、さらには

鷺別中学校分教場(仮称)が五十七年春に開校を予定しており、文教地区として恵まれた環境です。

分譲予約の申し込みは、次の要領で受け付けいたします。

分譲地の概要

所在地 登別市若山町二丁目

分譲区画数 六十三区画

区画面積 百九十三平方メートル(五十八坪)～四百二十五平方メートル(百二十八坪)

分譲価格 一平方メートル当たり二万二千三百八十五円(二坪：七万四千円)～二万三千八百九十七円(一坪：七万九千円)

交通機関 国鉄鶴岡線下車四丁、道南バス川上公園線および登別南高校(総合体育館経由、若山車庫経由)若山車庫停留所下車徒歩一分

工事了り予定 五月末日

施設の概要

区画街路/幅員八メートル、全舗装整備

公園/一カ所

消火栓/二カ所設置

上下水道、排水、ガス/完備

申し込み資格

自ら住む住宅を建築するため宅地を必要とする方。

市内に居住、または勤務先がある方。

分譲地購入後三年以内に住宅を建てることのできる方。ただし

し、特別な理由により、公社がやむを得ないと認められた場合は、二年間延長できることとします。

分譲の方法

登別市役所内において、関係者立ち合いのうえ厳正抽選とします。

契約および代金の納入方法

当選者は、十日以内に売買契約の締結を行ない、同時に契約保証金として売買代金の百分の十を納入。残金は、都市計画法第三十六

条の工事了り公告が行なわれた後二十日以内に完納してください。

受付期間

二月十六日(月)から三月十六日(月)まで

申し込み先

登別市土地開発公社(市役所二階)へ、印鑑持参のうえ直接申し込みください。

詳しいことは、同公社(電話5局2111内線377・378)へお問い合わせください。

今年度の固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行ないます

この縦覧は、地方税法の規定で納税者に固定資産の価格を知らせ異議申し立ての機会とするために実施されます。

期間 三月一日～二十日(日曜祭日を除く)

場所 市役所二階 課税課窓口(支所では縦覧できません)

縦覧できる台帳 土地課税(補充)台帳、家屋課税(補充)台帳、償却資産課税台帳

対象者 納税義務者、その家族などの関係者および代理人。代理人の方は、委任状を提示してください。

その他 印鑑を持参してください。縦覧手数料は無料です。(期間以外は無料)

## 水道料金を改定分から四月使用分



着々と進む配水管布設事業(第一期拡張事業、幌別町8丁目付近)

将来安定した水の供給と水道事業会計の健全な運営を図るため、水道料金は、五月(四月使用水量分)から次のとおり改定されます。

今回の改定は、昨年十二月の定例市議会において、慎重な審議の結果、議決されたもので、昭和四十九年九月以来、六年半ぶりの改定となりました。

新料金は、平均家庭で一カ月十三メ(立方メートル)使用すると、現行の六百五十円が九百九十円となり、三百四十円(五十二・二%)の引き上げとなります。公衆浴場用と臨時用は現行料金のまま据置かれます。

市民のみなさまのご理解とご協

改定料金表(内は現行料金(1ヶ月につき))

用途別

料

金

基本料

用途別	料	金
基本料		370円(200円)
家事用	1㎡以上 5㎡まで1㎡につき	30円(20円)
	6㎡以上 10㎡まで1㎡につき	55円(40円)
	11㎡以上 25㎡まで1㎡につき	65円(50円)
	26㎡以上 1㎡増すごとに	85円(55円)
基本料		740円(400円)
業務用	1㎡以上 10㎡まで1㎡につき	55円(40円)
	11㎡以上 30㎡まで1㎡につき	70円(50円)
	31㎡以上 50㎡まで1㎡につき	85円(55円)
	51㎡以上 100㎡まで1㎡につき	100円(65円)
	101㎡以上 1㎡増すごとに	115円(75円)

### 中央買物駐車場

ご利用  
ください



市では、昨年九月に買物客専用の駐車場を、中央町五丁目造成しました。  
利用される時は、次の事項を守っていただき、管理人の指示に従

市では、市内中小企業者（市内に住居および事業所を持ち、同一事業を一年以上営んでいる方）の育成と経済的向上を図るため、特別融資制度を行なっています。

市では、昨年九月に買物客専用の駐車場を、中央町五丁目造成しました。  
利用される時は、次の事項を守っていただき、管理人の指示に従

市では、市内中小企業者（市内に住居および事業所を持ち、同一事業を一年以上営んでいる方）の育成と経済的向上を図るため、特別融資制度を行なっています。

市では、市内中小企業者（市内に住居および事業所を持ち、同一事業を一年以上営んでいる方）の育成と経済的向上を図るため、特別融資制度を行なっています。

### 中小企業特別融資制度

融資金名	融資対象	用途	限度額	期間	利率	担保・保証人	取扱金融機関	備考
一般事業資金	市内に住居及び事業所を有し、引続いて1年以上同一事業を営んでいる中小企業者。市税を完納していること。取引停止処分を受けていないこと。許可、認可を受けていること。	運転	500万円	5年	3年未満 7.0%	取扱金融機関と定める。	室蘭信用金庫・北海道銀行・室蘭信用金庫・北道相互銀行・伊達信用金庫・信連信用金庫・市内各支店（ただし高砂支店を除く。）	原則として割賦償還
団業資金	市内に住居及び事業所を有する中小企業団体の組織に関する法律第3条第1項に定めるものであること。市税を完納していること。取引停止処分を受けていないこと。	運転	2,000万円	5年	"	"	"	原則として割賦償還 ・利子補給1.5% ただし設立後3年未満の中小企業団体に限る。
独立開業資金	市内の事業所に勤務し、事業主の推せんを受けることにより、市内で独立開業するための事業計画及び経営能力について市長が適当と認められた者	運転	300万円	3年	"	"	"	・割賦償還 ・据置6カ月
小口事業資金	市内に住居及び事業所を有し、引続いて1年以上同一事業を営んでいる中小企業者。市税を完納していること。取引停止処分を受けていないこと。許可、認可を受けていること。	事業資金	250万円	2年	"	信用保証協会保証人による。	"	・割賦償還 ・利子補給1.0%

(注) 申込に当たっては、市所定の申込書を使用し、市発行の納税証明書添付のこと。  
・設備資金については、見積書その他必要とする書類を添付のこと。

# 中小企業のみなさんへ

## 経営の安定に

### 中小企業倒産防止共済制度

中小企業倒産防止共済制度は連鎖倒産を防止するため、中小企業者の方々があらかじめ掛金を積み立て、相互に救済（共済会の貸付け）する国でつくられた制度です。加入後、六カ月以上経過して、万一取引先が倒産し、売掛金債権などの回収が困難になった場合、共済金の貸付けが受けられます。（制度の特長）

取引先企業が倒産した場合、掛金総額の十倍（最高）まで貸付け。共済金の貸付けは、無担保、無保証人、無利子。

この制度の詳しいことは中小企業団体中央会胆振支部（電話011-431-2217 266）および商工会議所（電話5局4111）へお問い合わせください。

### 中小企業特別融資制度

市では、市内中小企業者（市内に住居および事業所を持ち、同一事業を一年以上営んでいる方）の育成と経済的向上を図るため、特別融資制度を行なっています。

お気軽に相談、ご利用ください。お詳細については、市役所商工振興係（電話5局2111内線256）へお問い合わせください。



屋根の雪おろしはお早めに

屋根からの落水雪による事故に注意を

### 歳末すけあい運動

ご協力ありがとうございました

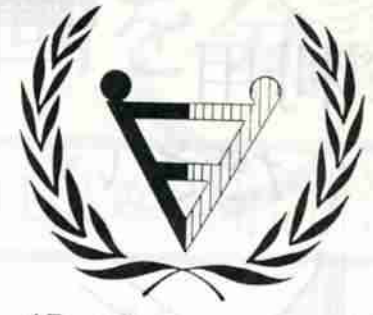
登別市社会福祉協議会  
共同募金会登別市支会

昨年十二月に展開しました「歳末すけあい運動」は、みなさまのご協力により、目標額三百八十万円を大きく上回る四百二十四万七千六百四十四円の募金が寄せられました。

この募金は、各町内会からの袋募金をはじめ、毎年寄託される団体や篤志家の方が、職場からの義援金などの善意によるものです。これらは歳末見舞金として支給されましたが、見舞を受けた長期入院患者、施設に入っておられるお年寄りなどからお礼の便りが数多く寄せられています。

運動にご協力いただいた市民のみなさま、さらに募金にあたられた町内会役員の方がたに深く感謝申し上げます。

昭和56年  
国際障害者年



〈テーマ〉  
完全参加と平等

# みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを

今年、国連が定めた「国際障害者年」——テーマは、障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」です。障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせるよりよい社会づくりをしよという「国際障害者年」。

この機会にみんな考えて、ここでも、あそこでも、思いやりと出合うまちづくりを進めましょう。

## 響けトロンボーン

高橋 良夫さん（29歳／奏心治療院）  
——幌別町2丁目——

失明を乗り越え、登別市民吹奏楽団のトロンボーン奏者として活躍している高橋良夫さん。

友人の勧めや団員の温かい励ましで昨年一月に入団。今では、胆振芸術祭やアンサンブルコンサート（トロンボーン四本）に出場するなど、クラシックからテレビ主題歌まで四十曲余りのレパートリーを持つほどです。

高橋さんは、幌別中、登別大谷高時代吹奏楽部に所属しており、経験があるというものの、新曲の習得は至難の技。団から手渡された楽譜は、奥さんの信子さんが楽譜を読んでテープに吹き込む。このテープを聴いて、頭の中で正確なメロディーを組み立てていくという。

「何より、健常者と一緒音楽を業しめるのが嬉しい、障害者問題を理解してもらうには、障害者

自身が積極的に社会との交流を深める必要があるのでは……」と話す。また、「団員は現在二十六名、夏には定期演奏会も予定しており、愛好者はどしどし入団して欲しい」という——音楽にかける情熱は人一倍だ。



診療室で練習に励む、トロンボーンアンサンブルのメンバー。(右から2人目が高橋さん)

## 「完全参加と平等」の実現を

「国際障害者年」のテーマは、障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」という目標の実現です。「参加」とは単なる社会生活への参加にとどまらず、さまざまな分野で社会の発展に貢献すること意味します。

### 障害者に不利な社会条件を見直そう

障害という問題は、その人自身にあるのではなく、障害者個人とその社会環境との関係から生まれてきます。

いま、一分間だけ、目をしてください。

たった一分間だけの光のない世界なのに、どのように感じられましたか。もし、そのまま一生目をとじてといわれたら……もし、そのまま外を歩けといわれたら……できないといえは、すむ私たちでも現実には、私たちのまわりに目



指文字を交え「赤鼻のトナカイ」を歌う美和ちゃん

## 耳の不自由な人のお友達に…

「将来は、耳の不自由な人の役に立つ仕事をしてみたい」という登別手話の会最年少の工藤美和ちゃん（幌別小4年）＝中央町6丁目＝。

手話の会に入会して2年、昨年のろう協クリスマス交流会で発表した、指文字で歌う「赤鼻のトナカイ」が得意で、今では「日常会話もゆっくりならでさう」というほどに上達しました。

年上の会員に交わりながら、市青少年会館での週1回の練習も「ほとんど休んだことがない」というがんばり屋さん。「今年は、手話をとおして1人でも多くの人と話したい」と張り切っています。

## 登別市推進本部を設置

〈国際障害者年を推進〉

スポーツ交流会など開催へ

市では、昨年十一月「登別市国際障害者年推進本部」を設置、障害者対策の検討に取り組み一方、今後、障害者団体と連携を取りながら具体的な事業を進めていくこ

の不自由な人がたくさんいます。もし、車イスがあなたの「足」だとしたら、あの階段はなんのため階段なのでしょう。障害者の障害となつていてる社会環境をどう改善すべきか、市民一人ひとりは何をすべきか、いま私たちに問いかけてられています。



川仁 菊子 さん

国際障害者年の目標である、障害者を持つ人の社会への完全参加と、平等に、少しでも近づけるためには、多くの人々の協力がな

昭和四十九年八月から、実施されてきている、目の不自由な人々への声の広報の提供は、現在、登別温泉地区の五世帯を対象に、市民のボランティアによって続けられています。

しかし、他地区にも対象となる方々がおられますので、この方々にも提供する必要があります。

そこで、新たな市民ボランティアの協力を得て、市内全地区の目の不自由な人に、声の広報を提供

## 市民ボランティアの力で「声の広報」のサービス拡大へ

### 希望者は登録を

ければなりません。

昭和四十九年八月から、実施されてきている、目の不自由な人々への声の広報の提供は、現在、登別温泉地区の五世帯を対象に、市民のボランティアによって続けられています。



横井 亮子 さん

することにになりました。

ご希望の方は、予め公聴広報課へ連絡し、登録して下さい。

登録された方には、録音テープを月一回、声の広報として貸出します。

声の広報をボランティアで作製される方は二人で、市内中登別町の川仁菊子さんと富士町六丁目の横井亮子さんです。

川仁さんは、昭和五十二年六月



16年前、労災でせき髄損傷。以来、下半身不随となり、車イスの生活が続いている。「絵は生きがい」とキャンパスに向かう千葉 征紀さん(36歳)一鉢山町7番地

## ハンディを乗り越え 絵筆に情熱をかたむける

絵筆を持つようになつ療養生活が始まった十六年前、医師に勧められベッドで油絵の指導

を受けてから。

昨年一月、五十号という大作に初めて取り組み、第二回登別美術協会公募展で協会賞を受賞。次いで十月の室蘭美術協会公募展に「アトリエ(二百号)」を応募、協会賞を受賞し、「作家の意図が画面全体にあふれ、知的で洗練された構成を見せている作品」と賞賛された。

車の運転免許を取得して十五年、改造車で道内はくまなく回ったという行動派。

鉢山町に移り住んで二年目、絵を描くかたわら、骨とう品の収集や気分転換にと彫刻も手掛けている。ここは静かで、神経を集中することができると言い、炊事や洗たくなど、日常生活はすべて一人でこなす。苦にならないし、ほとんど不自由を感じた事がない」と絵に打ち込む毎日だ。

## 交流を深め 人間的なふれ合いを

現在検討されているのは、市役所本庁の玄関とトイレを車イスでも使用できるように改造するほか、市民のみなさんに障害者についての理解を深めていただくための講習会の開催や、室蘭、登別、伊達三市による、身障者スポーツ交流会の開催などを計画しています。

また、今春オープンする老人福祉センターには、体の不自由な方のための施設があるほか、介護浴

室も設けられます。

昨年十二月一日現在、市内の身体障害者数は千八百八十四人(身障者手帳交付台帳から)です。市ではこうした人たちの悩みを少しでも解消するため、各種の福祉施設を実施していますが、行政の力だけでは充分といえません。

私たちがみんなが手を差し伸べ、体の不自由な方を包む、思いやりのある環境をつくりあげたいものです。

## こんなとき こんなふう

- 車イスの人に
- 必ずしもすべて介助が必要なわけではありませんが、どのような介助をしたらよいか、本人の意志を尊重して、できるだけ本人の望む方法で、手足の不自由な人に
- ▽松葉ツエの人、義足の人は、乗り物に大変困っています。よく聞いてお手伝いをし、席も譲りましょう。
- 耳の不自由な人に
- ▽会話はジュエスチュアを交えながら、口をやや大きく開いて、はっきり、ゆっくり話してください。手のひらや紙に書くのも、正確です。
- 目の不自由な人に
- ▽白いツエの人が立ち止まったり考え込んでいるのは、方向が分からなくなつたときに多い姿勢です。方角や場所を正確に言って下さい。案内するときは、白いツエの反対側に立つて腕を貸し、見えない人の半歩前を歩きます。



から協力されており、自らも身障者でありながら民生・児童委員や社会教育などのボランティア活動にも取り組まれている方です。

声の広報の担当地区は、カルルス・登別温泉・登別・富浦地区です。

横井さんは、昭和五十四年四月に岐阜市から登別市に転入された方で、朗読奉仕の経験のある方です。昨年七月に社会福祉協議会を通じ、紹介されましたので、声の広報をボランティアでやっていた

担当地区は、川仁さんの担当地区を除く全地区です。

連絡先は、登別市総務部公聴広報課(電話52-111内線22-1)です。あなたにもできる障害者への理解と協力をぜひどうぞ。

高いや低い人、速く走ることの得意な人やできない人というよう

な、身長の違いや運動能力の違いと同じ個人差のひとつであるとして、ごく自然な態度で接することが大切です。

実際に障害者と接してみると、これらのことがよくわかります。

特に今年、国際障害者年記念事業などが行なわれますので、積極的に参加し、障害者と交流することによって人間的なふれ合いをより深めていきたいものです。



### 新鋭消防車 驚別支署に配置

登別消防署驚別支署にこのほどジープ型の多目的消防車を配置しました。写真＝この消防車は、当市が石油備蓄基地をもつ室蘭市に隣接していることから、国の石油貯蔵立地等交付金を受けて購入したものです。多目的消防車には、小型動力ポンプの積載をはじめ、粉末消火設備、特殊エアージャッキ、ウインチなどを装備し、災害時での障害物の除去や国道などの車両火災に威力を発揮するほか、一般火災にも活躍が期待されます。また、スノーブローワーも装備され積雪時の消火活動や広報車としての利用などに活用されます。

## 市営住宅の入居募集

### 新生団地

市では、新生町二丁目（新生団地）に市営住宅を建設中ですが、この住宅は三月下旬に完成予定で、入居を希望される方は、次にようり申し込みをしてください。

▽募集戸数 第二種耐火構造 二十四戸以内

▽家賃 二万五千円

▽入居可能予定日 四月一日

▽募集期間 二月十日から二月二十五日まで

▽申し込み先 建築指導課住宅係

▽入居資格および申し込み方法 収入などの制限がありますので、これら入居資格ならびに申し込み方法をくわしく記入した「市営住宅入居募集案内」をお読みください。

案内書は、市役所建築指導課および各支所にあります。

## 公庫第四回受付け

2月26日まで

住宅金融公庫では、昭和五十五年第四回個人向け融資を、次の要領で受付けています。

申し込み受付けは、二月二十六日まで、土地の準備ができています。融資条件はおおむね次のとおりです。

▽融資額 木造住宅五百万円（八十平方メートル以上、百二十平方メートル以下）

二世帯住宅は六十万円割増し（九十平方メートル以上、百五十平方メートル以下）。

今年度から高齢者が利用する場合の承継償還制度や、十月一日からは団体信用生命保険特約制度も新設されています。

詳しいことは、公庫業務取扱金機関にお問い合わせください。

## 郷土史探訪

片倉町

### 白石城主片倉家の屋敷跡

昔の登別には、その土地の自然の特徴や開拓者の名前をつけた小川や橋、道路や地名も多くありましたが、現在三十七の町名の中で、開拓者の地名として片倉町が残っています。

片倉町の町名由来は、市民の多くが知っていることと思いますが、片倉町二丁目の東条康雄さんの好意により、宅地内に掲示板が立てられて、それには「片倉景光の屋敷跡」と書かれています。

仙台藩六十万石の支藩、白石城主で一萬八千石を拝領していた片倉家は、奥羽越前争で明治政府に敗れ、領土は没収、一武

士（華族の称号）を授けられた片倉景光は、一応親別郡の開拓の功も実って明治四十年十二月家族ともども宮城県白石に転居することになりましたが、十三代片倉景光とその家族の住んだ地域として片倉町の町名が残されました。

片倉町は、一丁目目が崖と台地状の土地、二丁目はダムの方が山麓で、登別高校から南の方は湧水の比較的湿地の多い所で、三・五・六丁目目が最もよく開墾され、四丁目は河川地帯の土地でした。

片倉町には、片倉景光が移住する前に開拓していた人達がいま片倉町三丁目付近は、現在も三丁目に住む西東さん一族の先代である片倉家臣の「西東勇吾」を中心とした人達です。また、片倉町六丁目の一部と五丁目、登別高校の敷地から西南にかけての広い地域は、やはり片倉家臣今崎久太郎らの開墾した地域で、彼の家数が登別高校の中心付近にありましたが、さらに、五丁目に住む石本市郎氏の先代は、やはりこの地を開拓した一族です。

片倉町三・四丁目の親別川に近い所は、河川の切りかえによって埋め立て、造成された土地で、以前は親別川が大きく蛇行して流れていました。

このような原始河川は、遂に昭和三十六年十月の大氾濫となり、死者十一名や鉄橋の流出などの生々しい被害をもたらした。射野津さんご一家五名の尊い命が奪われた事は、三丁目道路交差点わきにある「親子地蔵尊」でも知られています。

片倉主従の第一回移住は、明治三年六月です。今から約百十年にもなり、最初に入植した場所は、ハマ（親別町）、ライバル川周辺（中央町、富士町）、ワシベツ（美園町三・五丁目）、ランボツケ（富浦町）などでした。

片倉家の屋敷は、現在の親別町警察前付近にありましたが、十三代片倉景光がタケ夫人らと共に明治二十一年（一八八八年）に移り住んだのが、当時「オヒラカシ・川尻の座の上」といわれた現在の片倉町一丁目です。

富士町の大通りを登別高校の方へ行く東条さんが道路から見えるように立てられています。片倉景光の屋敷はまだ山ぎわの方に建てていました。山ぎわに湧き出る清水を飲料その他に利用し、屋敷の周囲には、梨、リンゴ、梅、すももなどの果樹もたくさん植えられています。



片倉町三丁目の親子地蔵尊

復籍の嘆願も許可され、明治三十一年には「男爵」

登別市郷土文化研究会 宮武記

## 特別生活資金をお貸しします

福祉年金を受給している老人世帯をはじめ、心身障害者世帯、母子世帯、特定疾患患者世帯の福祉向上のため、燃料費などの生活資金をお貸ししていますのでご利用ください。

▽貸付け限度額 三万円

▽申し込み期限 二月末日まで

▽償還期間 十カ月以内

▽貸付利率 無利子

▽担保 無し

▽保証人 一人

※貸付けの対象となる世帯は、生活保護世帯、社会福祉施設入所者を除く世帯です。

申し込み、問い合わせは社会福祉協議会（電話5局2111内線336）か、母子の会（電話5局2111内線291）へ。

## 心身障害児

短期療育事業が実施されます

道では、在宅の心身障害児（重度心身障害児（者）、精神薄弱児、身体障害児）およびその保護者を対象に、心身障害児短期療育事業を実施します。

この事業は、心身障害児施設に短期間（七日以内）入所していただき、在宅療育および日常生活に関する正しい知識の習得を目的としています。

詳しいことは、市福祉事務所福祉課（電話5局2111内線291）へお問い合わせください。

教育委員会では、冬の運動不足を解消していただくため、だれでも気軽に楽しめるミニバレーボール大会を開催します。多数ご参加ください。

◎日時 二月十五日(日) 午前九時三十分

◎場所 登別市総合体育館

◎対象 市内に居住または通勤する一般成人(学生は除く)

◎チーム編成 一チーム六名(補欠二名を含む)

◎種目 男子の部、女子の部

## ミニバレーボール大会 参加チーム募集

(男女混成チームは男子の部に含む)

◎試合方法 予選リーグ、決勝トーナメント方式

◎ルール ○六人制バレーボール規則を準用し、一セット十一点三セットマッチ

○コートおよびネットはバドミントン用を使用 ○試合球は、主催者側で準備するビーチボールを使用

◎申し込み 二月十日(火)までに、チーム単位で登別市総合体育館へ(申し込み用紙は体育館にあります)

## 市民の



登別市内に、市民が郷土について学習したり、展示物を見たりすることができる郷土資料館を造ってほしい。(市内登別町四丁目九番地十七 山崎和仁さん)

郷土資料館の建設につきましては、市内の郷土愛に根ざした地域住民の強い要望があり、本年度中に完成し、昭和五十六年六月頃にオープンできるように、現在市内の幌別ダム下の片倉町六丁目に建

設予定です。

内容的には、展示室、準備室、収蔵庫等を配置し、登別市の歴史、民俗、産業、自然に関する資料を展示するとともに、貴重な文化財の保存、資料の収集を強化し、郷土の正しい理解を深めるための、社会教育施設としての活用を図っていくことを考えております。

(教育委員会社会教育課)

幌別川の堤防近くに住んでおりますが、この周辺は環境も良く、幌別川をはさむ堤防には日頃サイクリング、散歩などで、市民の利便も結構多いのです。

市の総合基本計画の中には、幌別川上流のダム下にスポーツ公園のプランが盛り込まれていると聞きました。合わせてアスファルト舗装にしてサイクリングロードと散策路とを兼ねた設置を希望いたします。(市内新川町四丁目四十八番地十三 森 幸雄さん)

## 市長杯争奪



文化協会登別民謡連合会では、市内の民謡愛好者による第六回登別市長杯争奪民謡大会を次のとおり開催します。多数のご来場をお待ちしています。

▽日時 2月8日(日) 午前11時

## 民謡大会

時：開場、午前12時；開演。

▽場所 中央公民館二階ホール

▽出演者 39名

▽特別出演

第一回優勝者 小川 完一さん

第三回優勝者 安ヶ平久男さん

第四回優勝者 植野 一男さん

第五回優勝者 高橋 仁さん

▽囲碁大会

登別棋道連盟では、一般市民を

## 着付け教室を開きます

教育委員会では、美しい着物の着方とそのコツを習得していただくために、次のとおり「着付け教室」を開きます。

受講料は無料です。定員になり

次第締め切りますので、早めに申し込みください。

◎会場・日時(コース：6日間)

◎中央公民館 3月2・6・9・13・14・16日/午前10時～12時



## 2月省エネ月間

市では、本年度総合基本計画を樹立し、六月の定例市議会承認されましたが、この計画に基づき幌別ダム下に総合公園を計画しており、昭和六十年開設を目標に国や北海道に対し、強力に実現方を要望しております。

また、ご要望の幌別川の堤防にサイクリングロード、散策路の設置がありますが、現在北海道において幌別川環境整備事業を進めて

「市民の声」の欄への投書には必ず住所、氏名、電話番号の記入をおねがいいたします。

匿名希望の場合は、その旨をお知らせください。

### 新着図書案内

市立図書館  
5局4324

○下駄の上の卵 井上ひさし

○追憶から追憶へ 小堀杏奴

○スペイン巡礼 天本英世

○海からの使者イルカ 藤原英司

○波に夕陽の影もなく 佐木隆三

○夢のきりめき 岸輝子

○離婚記 小松山博

○氷雪の門 松山善三

○小児病棟 江川晴

○科学者と変革の精神 福島要一

○流水への旅 渡辺淳一

○オリシビック外史 鈴木良徳

○そして文明は進む 森本哲郎

○二十歳にして心朽ちたり 柏谷一希

○山を走る女 津島佑子

○女の論理 松原純子

○基底にあるもの 小田実

○学校に教育をとりもどすために 林竹二

○世界の素顔 中丸薫

○大本宮報道部 平橋孝

○子どものからだ 宮下充正

○役者 仲代達矢

○致死家庭 森村誠一

○盲人 松本清張

○パンコクの妻と娘 近藤敏一

○洞爺丸はなぜ沈んだか 上原淳一郎

○廃墟からの旅立ち 土之郷利昭

○細菌部隊の医師を追え 松山良昭

○都市の再生と下水道 中西肇子

○九点煙記 陳舜臣

○海子の都の物語 塩野七生

○鹿鳴館貴婦人考 近藤富枝

○美しい村 立原正秋

○幽霊時代 栗本薫

◎ひまわり園 2月16・18・21・23・25・28日/午前10時～12時

◎驚別公民館 3月2・4・7・9・11・14日/午前10時～12時

◎登別婦人センター 2月25・27日、3月4・6・11・13日/午後6時～8時

◎登録温泉公民館 3月4・5・6・9・11・12日/午前10時～12時

◎富浦婦人研修の家 3月3・4・5・6・10・11日/午前10時～12時

◎定員 各会場とも30名

◎用意する物 着付け用具一式、筆記用具

◎申し込み先 教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

市民憲章

ふれあう心の合言葉
一、心身をきたえよく働いて、活気あふ
れる豊かなまちをつくりましょう。

冬の交通安全

スピード10キロダウン運転の励行

- スリップを計算に入れた車間距離を保ち、安全な速度で走行
● 冬道は、積雪、凍結路面でスリップしやすくなっています。
スピード10キロダウン運転を励行しましょう。



市道民税
事業税
所得税
の申告相談

三税(所得税、事業税、市道民税)の申告相談の日程が次のよう
に決まりましたのでどうぞご利用
ください。
申告が必要な方は、昭和五十六
年一月一日現在、登別市内に住ん
でいる次のような人です。
● 給与所得者で給与所得のほかに
所得のある方(例えば地代、家賃
所得など)
● 給与所得者であっても勤務先か
ら給与支払報告書の提出がなかつ
た方。または、昨年中に会社を退
職された方。
△申告には、次のようなものが必
要ですのでご持参ください。
▽給与所得者は、源泉徴収票か雇
用主の給与証明書
▽営業、不動産および配当所得者
は、その収支を証する資料。
▽社会保険料および生命保険料の
ある方は、その領収書または証明
書。
▽医療費のある方は、その領収書
▽水害にあった方は市役所で発行
する罹災証明書。火災や盗難など
にあった方は消防署または警察署
の証明書。
▽印鑑(認印で結構です)

多数ご参加ください
第21回市内婦人大会



登別市婦人団体連絡協議会では
二月十九日(午前十時~午後三時)
に、登別婦人センターにおいて市
内婦人大会を開催します。
市内の婦人であればどなたでも
参加できますので、是非ご出席く
ださい。
当日は、北海道教育大学教授伊
藤隆一氏を迎え「北国のくらしと
家庭生活」と題して講演がありま
す。

▽参加料 二百円(昼食は主催者
が用意します)
▽参加申し込み 登別連会員の方
は各単位会へ、会員外の方は教
育委員会青少年婦人係へ申し込
みください。(電話5局2111
1内線350)

乳製品を使って
手軽にできる
料理講習会

みなさんの健康を保ち、バラ
ンスのとれた食生活に役立ててい
たため、乳製品などを使つた料
理の実習講座を行います。
▽日時・会場
2月25日: 鷺別公民館
2月26日: 中央公民館
2月27日: 婦人センター

2月の乳児相談

▽内容 医師による診察、計測、
生活指導、栄養指導
▽用意するもの 母子健康手帳、
換えオムツ、バスタオル
▽日程 2月18日: 中央公民館受
付/11時15分~30分 対象/鷺
別地区の昭和55年11月出生児
2月19日: 鷺別公民館(受付
/11時15分~30分 対象/鷺
別地区の昭和55年11月出生児)

〈募集〉消費者モニター

消費者の意見、要望や消費生活
に関する情報などを収集して、市
の消費者行政に反映させるため、
昭和五十六年度登別市消費生活モ
ニターを募集しています。
▷資格 市内に居住する二十歳以
上の主婦
▷募集人員 登別温泉地区二名、
登別地区二名、鷺別地区六名、
鷺別地区六名
▷期間 昭和五十六年四月一日~
昭和五十七年三月三十一日
▷報酬 予算の範囲内で若干支給
いたします。
▷申し込み方法 市役所商工振興
課消費経済係へ電話またはハガ
キで申し込みください。
(〒059-03 登別市中央
町六丁目十一番地、電話5局2
111内線257)

不用品タイヤル市
5局2111 内線257

おわけします(売り)
車用補助イス、加温器、ステレ
オ(セパレート型)、スキーセッ
ト(スキー180cm、靴26cmウエ
ーム)
ゆずってください(買い)
2段ベッド、ダブルベッド、洗
たく機、小型テレビ(14型)、ス
キーセット(スキー140cm、靴22
cm)、スキー靴(20cm)、湯わか
し器

Table with columns: 月日, 時間, 場所, 相談する税. It lists dates and times for tax consultation sessions at various locations like the city office and community centers.

ご寄贈ありがとうございます
ごさいます(敬称略)

- 一般寄付
物品寄贈 北海道コカ・コーラ
ホトリング(株)、小鈴会
老人福祉センターへ
現金寄贈 長内栄久、トヨタカ
ローラ室蘭、小西直輔
物品寄贈 登別農業組合
中央公民館へ
物品寄贈 登別市軽音楽協会
柿下侍叙香
社会福祉協議会(愛情銀行)へ
現金寄贈 登別市昭和会、鷺別
娯楽センター、商工会議所青年
部、登別社交ダンス愛好会、鷺
別娯楽センター従業員一同、美
園婦人部、相原亮平、登別汐見
高輪クラブ、阿部勝吉、渡辺バ
ンド、山名建設、北土喜二郎、
匿名一件
物品寄贈 三津谷義一、鎌田、
佐藤公、匿名一件
古切手寄贈 登別商工会議所、
サトウ電気、国立登別病院患者
一同、老人クラブ常会、登別
市母子の会、上田商会、堀井登
川端房吉、木村ノブ、匿名二件

新民生・児童委員
訂正のお知らせ

12月15日号で紹介しました、
新民生、児童委員の中で、三名の
方に誤りがありました。お詫びし
て次のとおり訂正いたします。

- 中央西地区
千葉辰男氏/鉾山町7(電話5
局8860)
鷺別地区
森口 達氏/鷺別町1-33-2
(電話6局7149)
北 キヨ氏/鷺別町6-30-8
(電話6局7743)